

対トーゴ共和国 事業展開計画

2023年 4月 現在

基本方針 (大目標)	回廊開発を通じた持続的経済成長の促進と基礎的サービス強化を通じた貧困削減・格差是正
---------------	---

重点分野1 (中目標)	回廊開発													
	【現状と課題】					【開発課題への対応方針】								
	<p>トーゴ政府は、「包摂的で持続可能な経済成長を実現する平和な近代国家」をビジョンに掲げ、新型コロナウイルス感染症流行後に策定された「ロードマップ2025」に基づき、ロメ港を西アフリカ地域内のロジスティック・ハブとした発展を促進すべく、回廊の開発及びそれに付随する成長産業の促進に取り組んでいる。</p>					<p>ロードマップ2025の第2の戦略において目標とされているロジスティック・ハブとしての地位の確立においてトーゴ政府が国土開発の最重要軸と位置付けるロメ港を拠点として、国土を南北に縦断し、内陸国へのゲートウェイとなるロジスティクス回廊の開発に貢献する協力を行う。更に、同回廊は西アフリカ「成長の環」、アビジャンーラゴス・ハイウェイ等の地域統合加速化のイニシアティブと連携していることから、我が国は、運輸・交通インフラの整備を中心に、成長産業の振興を含め、トーゴ政府の持続的な経済成長への取組を支援する。</p>								
協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
				2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度					
開発課題1-1 (小目標) 回廊開発	国土開発及び地域統合の最重要軸であるロジスティクス回廊の活性化のため、トーゴ政府による、調査や計画策定及びインフラ建設等に係る取組を支援する。	ソコデ・バイパス建設計画準備調査	協準	■								9,11		
		ソコデ市バイパス道路建設計画（詳細設計）	無償	■	■						0.79	9,11		
		道路維持管理能力強化アドバイザー	個別専門家			■	■	■	■	■		9		
		ロメ漁港運営管理及び運用上の安全性改善アドバイザー	個別専門家		■	■						9		
		ロメ漁港安全対策整備の技術的検討に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査			■	■					9		
		農業開発、インフラ開発分野等の課題別研修	課題別研修他		■							2,9		
		新型コロナウイルス感染症を含む公衆衛生危機に対応するための国境管理能力向上計画（IOM連携）	無償		■	■						5.44	6,8	

重点分野2 (中目標)	基礎的サービス強化と格差是正への配慮													
開発課題2-1 (小目標) 基礎的サービス強化と格差是正	【現状と課題】 トーゴでは、近年マクロレベルで堅調な経済成長を遂げており、GDP成長率は、新型コロナウイルス感染症が発生した2020年こそ2%と落ち込んだものの、2021年は6%、2022年は5.8%と同発生前の2019年の4.9%を上回る水準となっている(世界銀行(WB))。一方、人間開発指数の順位は191か国中162位(2021年、国連開発計画(UNDP))であり、格差是正や基礎的サービスへのアクセス向上は引き続き課題である。トーゴ政府は、ロードマップ2025において、最も脆弱な社会階層に焦点を当てた格差是正及び基礎的サービスへのアクセス向上に取組むとしている。					【開発課題への対応方針】 トーゴ政府が、経済成長に伴う国内格差の拡大を防ぎつつ、包摂的な成長を実現できるよう、トーゴ政府によるサービスへのアクセス向上に向けた取組を支援する。その際、回廊開発支援との連携も追求する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度				
			格差是正にも十分配慮しつつ、教育、保健、水分野を中心としたサービスへのアクセス向上と、格差是正へのトーゴの取組を支援する。	保健、ガバナンス、水資源等の課題別研修	課題別研修他	■■■■■							3,6	
			基礎的サービス強化と格差是正プログラム	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程及びインターンシッププログラム」	国別研修	■■■■■							9	
				援助調整	個別専門家	■■■■■							16	
				食糧援助(令和2年度)	食糧援助	■■■■■						3.00	2	
				食糧援助(令和3年度)	食糧援助	■■■■■						4.00	2	
				食糧援助(令和4年度)	食糧援助	■■■■■						3.50	2	
				経済社会開発計画(令和3年度)	無償	■■■■■						1.00	3	保健・医療体制整備
		経済社会開発計画(令和4年度)		無償	■■■■■						5.50	2	肥料	
		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償	■■■■■						0.27	4		
		SDGsグローバルリーダー		国別研修	■■■■■							16		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修他) (=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力はキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「——」(=実施期間)、「----」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf